

科目名	母性看護学概論 Introduction to Maternity Nursing		担当教員 (研究室番号)	大平 肇子 (104) 渡邊 聡子 (102)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	2年次前期	科目区分	専門科目・生涯看護学		選択区分	必修	単位数(時間)	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	可
											オープンクラス	可
科目目的	女性の生涯をととした母性の健康と次世代の健全育成を支援するため、母性看護の基盤となる概念理解に基づき、母性看護の対象への理解を深める。また、母性看護の対象をとりまく社会の変遷と現状を理解し、母性看護の課題や役割について考える。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	B 人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。(知識・理解)										
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。(姿勢・態度) C 多様な考え方や文化的背景を持つ人々の特徴に応じて、自らの看護活動の必要性や方法を説明するためのコミュニケーション能力を有している。(技能・表現)										
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 母性看護の対象理解と実践に必要な基本概念と支持理論について述べることができる。 女性のライフサイクルとマタニティサイクルにおける母性の特性と母性の健康に影響を与える要因について述べるができる。 次世代の健全な育成を支援する母性看護の役割と母性の健康をまもる社会のシステムについて述べるができる。 現代社会における母性の健康をめぐる課題とこれからの母性看護の果たす役割について考察することができる。 											
成績評価方法(基準)	筆記試験(70%)、レポート課題(20%)、学習内容へのコメント(10%)											
再試験の有無と基準等	有：不合格となった者全員を有資格とする。 再試験は筆記試験とし、それまでのレポート課題や学習内容へのコメントは再試験の評価に加味しない。											
教科書	系統看護学講座 専門分野 母性看護学概論 母性看護学1(医学書院)											
参考書等	母性看護学1概論、医歯薬出版株式会社 その他、必要時紹介します。											
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	常に社会の変化に目を向け、母性看護のあり方についてあなた自身の考えを深めてください。文献をできる限り多く読んで自己学習し、積極的に授業に取り組むことを期待しています。											
備考	母性看護方法Iを履修するための先修条件となります。											
回	学習項目		学習内容					主担当教員	授業方法			
1回	母性の定義の考察 女性のライフサイクルと母性の探究		<ul style="list-style-type: none"> 母性とは何かを考える。母性の定義について学ぶ。 女性のライフサイクルについて学ぶ。 女性中心のケア、家族中心のケアについて学ぶ。 					大平	講義			
2回	母性看護の基盤となる概念①		<ul style="list-style-type: none"> リプロダクティブヘルス/ライツとは何かについて考える。 セクシュアリティ、ジェンダーなど母性看護の対象理解のために必要な基本概念を学ぶ。 					大平	講義			
3回	母性看護の基盤となる概念②		<ul style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーションの概念について学び、母性看護における活用について理解する。 ウェルネスの概念について学び、母性看護における活用について理解する。 					大平	講義			
4回	母性看護からみた親子・家族関係		<ul style="list-style-type: none"> 親子・母子関係の形成にかかわる理論を学ぶ。 親役割形成を促す看護について検討する。 					大平	講義			
5回	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷		<ul style="list-style-type: none"> 統計データを通して、女性や母子を取り巻く現状を読み解き、その背景にある社会・文化的要因を理解する。 母性対象を支える関係法規、および、社会支援システムについて学ぶ。 					渡邊	講義			
6回	国際化社会と母性看護		<ul style="list-style-type: none"> リプロダクティブヘルス/ライツの視点から、国際化社会における母性の健康に関する課題、および、母性看護の果たす役割と看護職者の責務について学ぶ。 					渡邊	講義			
7回	性と生殖をめぐる倫理的課題		<ul style="list-style-type: none"> 性と生殖をめぐる倫理的課題を理解し、看護倫理の基本原則およびセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツの視点から、考察する。 					渡邊	講義			
8回	母性看護の基盤となる看護技術		<ul style="list-style-type: none"> 母性看護の対象者が抱える健康課題/問題に対して、対象者自身がもつ能力を活かして解決するための看護援助の概念・理論について学ぶ。 女性の意思決定支援、セルフケア能力を高める支援など 					渡邊	講義			
学 習 課 題												
1～4回目課題(事後)：提示されたテーマについて、レポートにまとめ、指定の期日までに提出する。												
5回目課題(事前)：空欄のある授業資料を配付し、空欄部分に該当する解答を考えて記入してくる。												
5回目課題(事後)：母子保健に関する法規ワークシートを完成させる。												
5～8回目課題(事後)：提示されたテーマについて、レポートにまとめ、指定の期日までに提出する。												
実務経験を活かした教育の取組												
・担当教員全員は、看護職として実務経験がある。看護の実践及び教育・研究活動を行っており、その経験を活かして本授業の講義を行う。												